

武蔵塚公園

熊本の剣豪・宮本武蔵（1584-1645）が埋葬されている可能性のある 3 つの場所のうち、熊本市東部の武蔵塚公園が最も有力な候補とされています。武蔵は、地元の藩主・細川忠利（1586-1641）とその後継者・細川光尚（1619-1650）の庇護のもと、生涯の最後の 5 年を熊本で過ごしました。言い伝えによると、武蔵は細川一族に忠誠を誓い、死後も細川一族を見守るために甲冑を身に着けて直立した状態で埋葬するよう頼んだといいます。武蔵塚公園は、江戸（現在の東京）へと続く、細川家がよく通っていたであろう旧街道沿いにあるため、他の 2 つの墓の候補地よりも見張り所としての合理性があります。公園の入り口には、トレードマークの二本の刀を持った武蔵の銅像があります。公園内には日本庭園と茶屋があります。